



約 18,000㎡の広大な面積に加え、50mもの高低差もある厳しい現場で毎日計測を行うという難作業を、より効率的かつ正確にするために FOCUS 35を導入された効果を、(株)木場組の現場代理人 梶原様にお聞きしました。

## 「スピードが増し、エラーが減った丁張設置」

今回 FOCUS 35を使用したのは、トンネルへの荷重を減らすことを目的としたトンネル上部の切土工の現場です。まずは、切土工に必要な丁張設置作業の効率化が課題としてありました。そこで丁張設置のアプリケーションを使用して70本を設置したのですが、FOCUS 35はプリズム計測後に選択断面に対する「鉛直離れ」「水平離れ」「断面離れ」などが目で確認できるので、丁張設置のスピードがアップしています。以前はマニュアルトータルステーションとレベルを使用して作業していましたが、その頃に比べると20%くらいは作業効率が向上したイメージですね。

そして、標尺の読み間違いや記帳ミス、入力ミスといったヒューマンエラーが減ったように感じます。その効果の方が、現場への貢献度が高いのではないのでしょうか。再測することも無くなりました。

## 「広大な現場で実現した、人員の削減と負担の軽減」

もう一つの課題は、日々の変位計測の作業負担をいかに軽減するかでした。この現場は地すべり危険地区に指定されていることもあり、毎日の計測が必要です。1週間に最大で5cmくらい変位した時もありました。このため48もの測点を毎日観測し、変位量を確認した上で慎重に切土工を行っています。

ところが、今回のような広大で高低差のある現場では、作業者の移動だけでも大変です。計測にかなりの時間が必要となり、体力的な負担も大きい。そこで今回は、FOCUS 35で可能になるワンマン測量による効率化を目指しました。高低差が50mもあることから移動によるプリズムのロストなどを心配しましたが、ロストすることは少なく、ストレスなく作業できています。また、二人作業なら発生するトランシーバーでのやり取りも無くなり、時間的にも、人減的にも、生産性が向上したと実感しています。

## 少人数の現場でこそ

現場代理人 梶原 裕樹さん

今回の FOCUS 35導入に関しては、今まで二人でなければできなかった測量を一人でできることによる「人減化」が最大の効果だと思います。コスト面での効果は勿論ですが、一人で作業できることによってもう一人が他の作業に従事できるようになることは、少ない人員の現場で特に効果が大きいと実感しました。



加藤 美雪さん

梶原 裕樹さん

## 株式会社木場組 様

宮崎県宮崎市で、舗装工事業務をメインに事業展開されています。今回は人減化を目的に FOCUS 35を導入して頂きました。